

業務連絡

2020年 8月24日
J R 東海労新幹線関西地本
編集 業務部 No. 1

2020年8月19日、新大阪日之出会議室において「申」第2号について、会社は団体交渉の開催を拒否し、会社側幹事から口頭による回答がありました。

以下、組合の申し入れと会社回答。

J R 東海労幹関西地「申」第2号
2020年7月22日

J R 東海パッセンジャーズ社員の新型コロナウイルス感染に関する申し入れ

7月17日、新幹線パッセンジャーズサービス（J R C P）の社員から新型コロナウイルスの陽性者が出たと報道がされている。当該社員は7日から研修を行い9日に頭痛と吐き気の症状があり医療機関を受診し「胃腸炎」と診断され、10日、11日と休み12日に回復し新幹線に乗務していたが帰宅後体調不良で15日に医療機関を受診し、16日に陽性と判明した。乗務した列車は「のぞみ84号」と「のぞみ355号」。常時マスク着用でお客様との濃厚接触はしていないと報じられている。

しかし、研修期間中や、乗務日の待機中や折り返しの待機中は多くの関係者と接触をしているものと思われる。また、84A列車は新大阪発6：51で到底当日出勤していると考えにくく、前日から宿泊していると思われる。また、折り返し9355Aは東京駅12：42発で84A到着から3時間30分程待機時間がある。そのように考えると、J R 東海社員の乗務員や当日のクルー等について会社として積極的に情報を共有し、関係すべき施設の消毒や、PCR検査等について関係保健所等に対して要請を行うべきである。しかし、会社対応は、旅客からの対応マニュアルを社員に指示するだけで、感染予防の観点からの対応が一切なされていない。

よって下記のとおり申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、社員の健康管理及び労働環境の整備に努めること。

記

1. 新型コロナウイルスに感染した新幹線パッセンジャーズサービス（J R C P）の当該社員の発症2週間（最大潜伏期間）前からの拘束時間内の行動について明確にすること。

【会社回答】

プレス発表している通り、J R 東海パッセンジャーズ大阪列車営業支店の20代の女性パーサー社員と聞いている。当該社員の発症2週間前からの拘束時間内の行動については、個人情報も含まれること等から、明らかにするつもりはない。

2. 当該社員の行動に基づき、接触した関係社員（J R C P社員及びJ R 東海社員）のPCR検査を実施すること。

【会社回答】

当社の社員に関しては、手洗い等による感染予防や検温等の健康管理を徹底しており、現時点でPCR検査を実施する予定はない。なお、個別の事象に対するPCR検査の受検要否については、保健所の指示があればそれに従う。関係会社社員に関しては、当社の判断でPCR検査を実施することが出来ないため、回答する立場にない。

3. 感染拡大防止の観点から、乗務員を中心に感染した場合の対策等についてどのように考えているのか明らかにすること。

【会社回答】

乗務員に限らず、社員に対しては、手洗い等による感染予防や検温等の健康管理を徹底しているが、感染が判明した場合は、保健所等に相談しながら、感染した社員の職場での行動履歴や他の社員との接触有無の調査を行い、保健所等の指示に従って出社不可や経過観察の処置を行う。また、職場内の必要な箇所の消毒を行う。

4. 当該社員が使用した施設等に入入りする全ての社員及び関連会社等に、今事象について明らかにし、体調不良等異常を感じた場合は、ただちに医療機関を受診するよう体制を整えること。また、その場合現場管理者が素人判断することなく、休暇を認める等の勤務手配を行い、結果のみの報告を求めるのに留めること。

【会社回答】

関係箇所においてはすでに掲示等で周知をしており、必要な範囲で体調把握を行っている。体調が悪い場合は速やかに申告するよう社員に周知している。なお、関係する関連会社への情報提供しており、必要な範囲で体調把握をしていると聞いている。

5. 社員の安全とお客様等の信頼を維持するために、社内に入る前に、消毒液での殺菌後、非接触体温計で検温を行い37.5度未満であることを確認し入室するようにされたい。

【会社回答】

社員に対しては、手洗い、うがい、手指消毒による感染予防を徹底するよう周知しているところである。また、点呼にて各自の体調確認を行い、体調不良の場合は勤務不可としており、体調不良が判明した場合は、症状に応じて医療機関の受診や保健所へ相談するよう指導している。なお、新型コロナウイルス感染の可能性がある社員が業務に就くことを防止することにより、お客様により安心してご利用頂くため、駅及び運輸所において8月18日以降、非接触型体温計を用いた検温を実施している。

以上